

# 脱炭素社会を実現しよう!!

気候変動（地球温暖化）に対処するために、脱炭素社会を実現する取り組みが始まっています。  
この取り組みには、緩和・適応の2つの軸があります。

**緩和**=CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出を抑制する

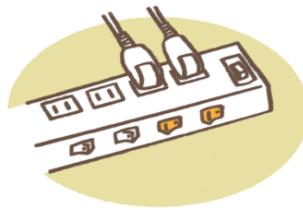
**適応**=気候変動（地球温暖化）による影響にあらかじめ備える



## 私たちが身近で取り組める緩和策の例



使わない時や外出時はプラグを抜く



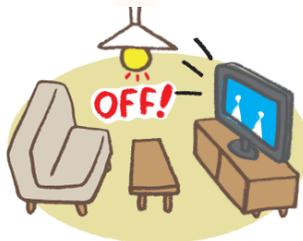
エコタップを使う



追い炊きしないよう  
入浴は間隔をあげずに入る



5秒の停止なら  
アイドリングストップする



照明や家電は  
必要な時だけつける



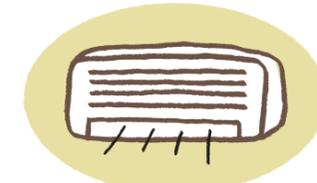
同じ部屋で団らんし  
冷暖房や照明などの使用を減らす



冷蔵庫にもものを  
詰め込みすぎない



緑のカーテンを設置して  
室内温度が上がらないようにする



暖房は1 低く  
冷房は1 高く設定しよう



# 気候変動と私たち

これからも地球で暮らしていくために

### 日本の真夏日の日数は どうなるの？

2100年末における  
真夏日(最高気温30℃以上)の  
年間日数予測

出典)環境省・気象庁  
日本国内における気候変動予測の  
不確実性を考慮した結果について

北日本日本海側 (参考都市:札幌)	約48日 (現在の日数:約8日)	北日本太平洋側 (参考都市:釧路)	約34日 (現在の日数:約0日)
東日本日本海側 (参考都市:新潟)	約91日 (現在の日数:約34日)	東日本太平洋側 (参考都市:東京)	約105日 (現在の日数:約49日)
西日本日本海側 (参考都市:福岡)	約124日 (現在の日数:約57日)	西日本太平洋側 (参考都市:大阪)	約141日 (現在の日数:約73日)
		沖縄・奄美 (参考都市:那覇)	約183日 (現在の日数:約96日)

わしが  
子どもの頃は  
こんなことは  
なかった...



# 気候変動の要因は、私たち

私たちは、日常的にたくさんの電気製品を使い、移動には自動車を利用するなど便利で快適に暮らしています。お店には、季節を問わず、いつでもさまざまな種類の商品が並び、欲しいモノを欲しい時に買うことができる状態が“あたりまえ”になっています。

この“あたりまえ”の暮らしを維持するためには、電気製品や自動車を動かすためのエネルギー（電気やガソリンなど）を必要です。私たちは、そのエネルギーをつくるために、毎日たくさんの石油や石炭を燃やし、CO<sub>2</sub>を排出しています。その結果、便利な暮らしが進むほど、大気中のCO<sub>2</sub>が増え、気候のバランスが年々崩れています。これが、**地球温暖化＝気候変動**です。

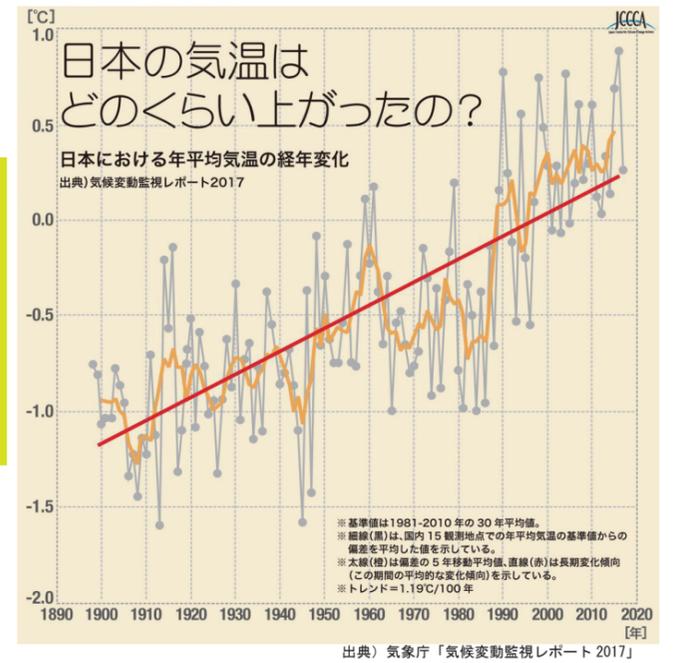
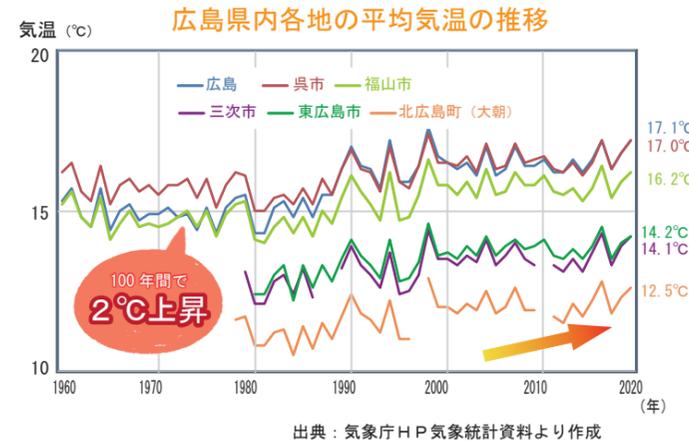
気候変動により、近年、集中豪雨・異常高温・巨大台風など、これまでに観測されたことのない**極端な気象現象**が、世界中で発生しています。これに伴い、土砂崩れ・干ばつ・高潮などによる**災害も多発**しています。また、自然災害の強化も懸念されています。

極端化した気象は、人間の生命や財産を脅かすだけでなく、地球上のすべての生物＝動物・植物・昆虫の生命を絶滅の危険にさらしています。

## 温暖化による将来の主要なリスク

<b>洪水豪雨</b> (大都市)	<b>熱中症</b> (死亡・健康被害)	<b>インフラ機能停止</b> (電気供給、医療などのサービス)	<b>食糧不足</b> (食糧安全保障)	<b>海面上昇高潮</b> (沿岸、島しょ)	<b>水不足</b> (飲料水、灌漑用水の不足)	<b>海洋生態系損失</b> (漁業への打撃)	<b>陸上生態系損失</b> (陸域及び内水の生態系損失)
----------------------	-------------------------	-------------------------------------	-------------------------	---------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------------

# 変わりゆく日本の四季

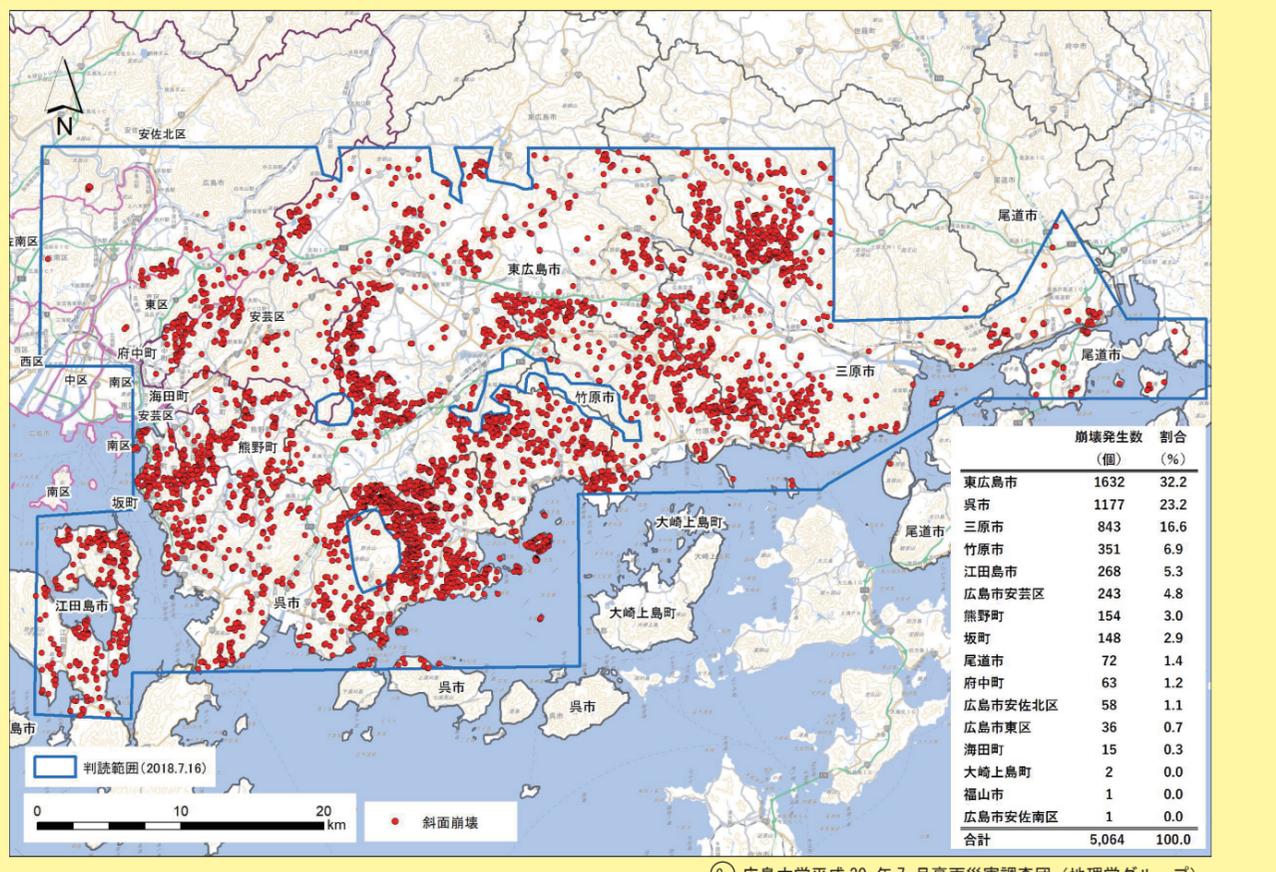


## 日本で頻発する異常気象と巨大災害 2014-2020

年	気象現象	広島最高気温	広島猛暑日	広島真夏日	広島最低気温25°C以上
2014	冬 発達した低気圧による 大雪・暴風雪 夏 台風8号および梅雨前線による 大雨・暴風 台風12号、11号と前線による 大雨・暴風 <b>広島豪雨災害</b> (平成26年8月豪雨) 台風18号による 大雨・暴風	36.4°C	2日	49日	18日
2015	夏 梅雨前線及び台風第9号・第11号・第12号 大雨 台風18号等による大雨 (9月 関東・東北豪雨)	35.9°C	5日	42日	22日
2016	冬 北陸地方で豪雪 夏 梅雨前線による大雨 台風7号、9号、10号、11号及び前線による 大雨・暴風	37.2°C	16日	70日	45日
2017	冬 山陰地方で豪雪 夏 九州北部豪雨 および梅雨前線による大雨 台風18号および前線による大雨・暴風 秋 台風21号および前線による 大雨・暴風	37.0°C	5日	61日	43日
2018	冬 関東甲信地方で大雪 北陸地方で豪雪 夏 7月豪雨および梅雨前線による大雨 <b>西日本豪雨</b> (平成30年7月豪雨) 台風21号、24号による 暴風・高潮	37.3°C	28日	66日	46日
2019	夏 前線および台風3号、5号による大雨 前線および台風10号、13号、15号、17号による 大雨 房総半島台風 秋 台風19号による 大雨・暴風 東日本台風	37.5°C	7日	55日	35日
2020	夏 前線による 大雨 令和2年7月豪雨 台風10号による大雨・暴風 冬 強い冬型の気圧配置による大雪	37.1°C	15日	57日	39日

参考：気象庁 website より

## 平成30年7月豪雨による広島県の斜面崩壊分布図 2018年7月16日



© 広島大学平成30年7月豪雨災害調査団 (地理学グループ)